

JAAC だより

求められるコミュニケーション能力とは？（前編）

－ 自ら最初に「話しかける」ことの大切さ、難しさ －

本誌9月号の『やはり、海外留学生は企業に求められている』の中で、留学生を採用する日本の企業が日本人留学生に最も求める資質として「コミュニケーション能力」の高さを挙げていることをお話しました。何年か前までは、多くの企業は日本人留学生の持つ「異文化適応力（対応力）」や「語学力」を重視していたようですが、ここ最近では、日本人留学生の持つ「コミュニケーション能力」に着目しているようです。そもそも「コミュニケーション」の定義は“人間が社会生活を営むうえで、言語や文字、身振りなどを媒介として互いに意思や感情、思考などを伝達しあうこと”と言われています。このことから「コミュニケーション能力」とは、簡潔に言えば“他人と互いに意思、感情、思考などを伝達しあうことに長けている能力（力）”と言えます。日本人と欧米人とを比べれば、残念ながら欧米人の方がこの「コミュニケーション能力」が高いと言わざるをえません。

皆さんもご存知のように、日本と欧米は異なる長い歴史を歩んできました。その過程でそれぞれ独自の文化と社会を築いてきました。有史以来、ユーラシア大陸においては様々な民族間の戦いはじめ、人と物の交流が盛んに行われ、そのたびに互いに色々な影響を受けてきました。ことばや習慣が異なる彼等が互いに共存するには、お互いに意思の疎通を図らなければなりません。自分の意思を相手に伝え、自分の存在を知らしめなければ、自分自身の存在そのものが危ぶまれてしまうからです。一方、日本人は長年にわたり島国に暮らし、外界との交渉を絶ててきました。狭い島国の中で部落を形成し、同じ部落の仲間同士で暮らすうちに仲間意識が強くなり、その一方で個人の自立性は弱くなりました。また、“よそ者”に対する警戒心や張り合う意識が高まり、自ずと排他的になっていきました。このように日本と欧米とは長い年月と歴史によって受け継いできたお互いの文化により、コミュニケーションを図るうえでも互いに異なる意識と手法を見出してきたのです。

ここでよく使われる事例をみてみましょう。私は日本人は立食パーティーが苦手だと言われています。パーティー会場に行くと周りに親しい知人を探して、彼等の方に自然に足が向いてしまいがちになります。あらかじめ席次が決められている宴席などでは同じテーブルや両隣の方と話し易いが、立食形式の会合などでは、知人やパーティー関係者らから紹介されない限りは自ら初対面の人に話しかけることもなく、気が付いてみれば飲み物を片手に持って一人で孤立している、なんていうことはありませんか。私たちは初対面の人たちのなかでは他人に気軽に話しかけたり、自分が帰属していないグループに接したりすることが一般的に不得意だと言われているんですね。海外では、欧米人は初対面の人に対しても物怖じせずに気軽に話しかけるが、日本人は一般的に「Shy シャイ：内気な、恥ずかしがり」で、あまり他人とは話さない（話したくない）と言われてきました。「英語があまり話せないから」という理由もあることでしょうが、このことは典型的な日本人の行動様式・パターンを映し出していると思います。しかし、本当に日本人は「Shy」なのでしょう。私は単なることばの問題や「恥ずかしがり」という理由からではなく、“自らことばを発することが苦手”なのだと思います。「恥ずかしくて」無口気味になることと、「自らことばが発せない」こととはまったく異なる問題です。実は今、この「自らことばが発せられない」人たちが意外に多いということが注目されているのです。ここで注意する点は、「コミュニケーション」を図る相手は“他人（この場合、自分以外の相手）”すべてであり、決して外国人（異文化圏の人たち）だけに限定されていないことです。つまり、同じ文化を共有する日本人同士の場合も含まれることを見逃してはなりません。

確かに、「コミュニケーション能力」とは相手に自ら「話しかける」ことだけを言うものではありません。しかし、『互いに意思や感情、思考を伝達しあう』というコミュニケーションの定義からすると、「相手に話しかける」ことがコミュニケーションを図るうえでの基本であり、第一歩であることは言うまでもないことです。自ら「話しかける」ことをしなければ相手に自分を理解してもらえず、何事につけても生活をしていけない欧米文化圏のなかで学ぶ日本人留学生は自然に高い「コミュニケーション能力」を身につけていると言えるでしょう。このことが日本人留学生は日本の学生に比べてコミュニケーション能力が高いと言われている所以です。さらに日本人留学生は日本語とは異なる言語により相手との意思の疎通を図ることが求められています。JAAC生の皆さんの場合も当然のことながら、自然に高い「英語によるコミュニケーション能力」を身につけていることとなります。多くの企業は皆さんのこの能力を求めているのです。それでは、「コミュニケーション能力」がビジネスの世界ではどのように必要とされるのか、次号で考えていきましょう。（次号に続く）

キャリア・フォーラムへの参加にあたって

— 事前の準備が大切です —

就職活動が盛んに行われているなかで、JAAC生の皆さんのなかにも11月のBoston Career Forumや12月のTokyo Winter Career Forumへの参加を予定されている方がいらっしゃることでしょう。そこで、今回はキャリア・フォーラムへの参加を前に、就職に対する考えをもう一度整理していただくためのポイントを皆さんと一緒に確認してまいりたいと思います。多少なりともご参加される皆さんのご参考になれば幸いです。

1. 自分の進路は決まりましたか? : 卒業後、就職をするのか、それとも大学院等に進学するのかを決めましたか? 大学院へ進学する場合には、大学院卒業後の就職状況などについて尋ねてくることを事前にまとめておきましょう。
2. 自分が就きたい職業が明確になっていますか? : 将来、自分が就きたい職業が決まっているか、もう一度自分と向き合って考えてみましょう。キャリア・フォーラムに参加して自分が就きたい職業を決める場合は、事前にいくつかの志望職種を考えて、それらをもとに同会場内のカウンセラーや各企業の担当者に相談をしたり、彼らから説明を受けるようにしましょう。
3. 志望する企業のリストアップはできましたか? : キャリア・フォーラムでは皆さんの志望職種が叶えられる企業があるかどうかを探することができます。また、事前にリストアップした志望企業以外にも数々の企業の存在を知ることでしょう。できるだけ多くの企業の情報を得るように努めましょう。
4. 志望企業への就職活動において必要なことを尋ねてきましょう。: 志望する企業の候補が決まったら、それぞれの企業への就職活動において準備することや、その他、やらなくてはならないことを尋ね、それらを確認して整理するようにしましょう。

キャリア・フォーラムは皆さんと様々な企業との顔合わせの場でもあります。事前に参加を予定している企業を尋ねたり、自分が志望する企業と事前に連絡を取ることを希望する場合は、インターネット等を通じて主催者に問い合わせしてみましょう。場合によっては、自分の履歴書 (RESUME/CURRICULUM VITAE 等) を持参することもありますので、十分な時間と余裕を持って必要な準備をしておきましょう。

また、キャリア・フォーラムは近い将来に (例えば来年から) 就職活動をする予定の方でも参加できます。例えば、現在、大学2年生・3年生の方が参加しても良いのです。早い時期からキャリア・フォーラムに参加し、企業の動向や採用状況などについて調べ始めることも大事なことです。自分自身の進む方向や志望する職種を決めたり、さらには志望する企業の選択と研究などについてはある程度の時間をかける必要があります。大学2年生くらいのうちから将来の進路を考えることは、決して早すぎるものではありません。どうか、事前にしっかりと準備を行ったうえでキャリア・フォーラムに参加してください。

(カリフォルニア事務局: 照井)

【編集後記】 史上まれにみる円高傾向が続いている。日本の経済は・・・? もはや海外旅行や留学のチャンス、など言っ
てはいられないのかもしれない■放射能物質による土壤の汚染とその除染に関心が寄せられている。次代を担う子供たちの健康は保証されるのか♥東日本大震災の行方不明者は約3,850人となった。身元が確認された方々が少しずつ増えている。早く全ての方がご家族のもとに帰れることを心から願っている●男子、女子ともに体操日本代表チームが素晴らしい演技を見せてくれた。体操王国、日本の復活に期待したい◆これから寒くなりそうだ。身体には気をつけよう。(照井)

Let me remind you . . .

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

◆就職活動をするJAAC生の皆さんへ: 海外大生を対象としたキャリア・フォーラムがボストン(11月)と東京(12月)で開催されます。詳しくは <http://www.careerforum.net/> をご参照ください。

その他、インターネット上では海外大学卒業者(見込み者)を対象としたジョブ・フェア等の情報が掲載されています。随時、各自で検索を行ってください。

●JAAC本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口:

フリーダイヤル0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当: 高瀬

JAAC日米学術センター 鈴木: t.suzuki@jaac.co.jp ©カリフォルニア担当: 照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp

